FlexNet Manager Suite 2018 R1
リリース ノート

2018 年 3 月、バージョン 1.031

はじめに **3**
新しい機能 **4**
クラウド サービス プロバイダー向けのライセンス管理 4
SaaS Inventory Framework 5
Salesforce サブスクリプション管理 5
Data Platform との統合 6
以前のリリースからの変更点 **8**
インポートおよび照合を制御するロールの管理 8
IBM 製品のエディションについての認識改良 10
Adobe DC アプリケーションの認識改良 11
Flexera Analytics のサイレント インストールにおける資格情報の暗号化サポート 12
失効日チェックの用の追加 URL 12
HP DDMI アダプター ドキュメントの更新 12
バンドルのドキュメント強化内容 12
インベントリ ビーコンの選択処理についてのドキュメント 13
Oracle データベースの複製: 機能および使用状況の計算における変更 13
Software Vulnerability Manager インベントリ エクスポート ツールの名前変更 13
使用許諾契約 **14**
インストールおよびアップグレードについての通知 **14**
修正されたバグ **15**
システム要件 **18**
ネットワーク要件 19
ハードウェア要件 20
前提条件ソフトウェア 22
その他の製品との互換性 27
既知の問題 **31**
ドキュメント **31**
その他の情報 **32**

メモ: 公開済みの最新リリースノートは、フレクセラ Customer Community (ログイン要) からご利用いただけます。

- English
- Français
- Deutsch
- 日本語

はじめに

FlexNet Manager Suite は、16,000 社を超えるソフトウェア メーカー、および 225,000 以上のアプリケーションに対するソフトウェア資産、ハードウェア資産、およびエンタープライズ契約の管理を行います。インストール済みのソフトウェア、アプリケーションの使用率、購入に関する情報をレポートし、またこれらを照合してライセンス ポジションを提供します。仮想環境および Ooracle データベースのインベントリを行い、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)、および構成可能なアダプターを使って、その他のインベントリ ツールからインベントリをインポートし、エンタープライズ リソース プラニング (ERP)、人事 (HR)、Active Directory (Ad)、および発注 (PO) システムとシームレスに統合します。1,380,000 以上の製品 SKU 番号 (Stock Keeping Unit) を含むビルトイン ライブラリを使って、購入とインベントリを自動照合し、最新のライセンス モデルもサポートする FlexNet Manager Suite を活用することで、エンタープライズ内のソフトウェア資産運用を把握すると共に、ソフトウェア支出の最適化を図ることができます。

これらのリリースノートには、FlexNet Manager Suite について次の情報が掲載されています:

- FlexNet Manager Suite
- FlexNet Manager for IBM
- FlexNet Manager for Microsoft
- FlexNet Manager for Oracle
- FlexNet Manager for SAP Applications
- FlexNet Manager for Symantec
- FlexNet Manager for VMware
- Service Life Data Pack

スイートに含まれる次の製品については、個別のリリースノートを参照してください:

- FlexNet Manager for Engineering Applications
- FlexNet Manager for Cloud Infrastructure
- Workflow Manager

公開されるリリースノートは、英語版、フランス語版、ドイツ語版および日本語版をご利用いただけます。

新しい機能

クラウド サービス プロバイダー向けのライセンス管理

エンタープライズ内で、クラウド サービス プロバイダーがホストする仮想マシンにアプリケーションを配布する場合、既存のライセンスを使ってこれらのインストールを認証することがあります。これはよく、ソフトウェア ライセンス持ち込み（BYOSL: Bring Your Own Software License）と呼ばれます。

BYOSL 管理のサポート第一段階が、この 2018 R1 リリースに含まれています:

- FlexNet Manager Suite には広く認知されているクラウド サービス プロバイダーがデフォルトで含まれていて、必要に応じた数のクラウド サービス プロバイダーを追加することもできます。
- ソフトウェア メーカーがクラウド上で実行するソフトウェアのポイント規則を個別に管理することを要求する場合、カスタム ポイント規則を定義することができます。ソフトウェア メーカーが相違を指定する場合、各ポイント規則を 1 つ以上のクラウド サービス プロバイダーにリンクすることができます。たとえば、Oracle が Amazon Web Services（AWS）と Microsoft Azure でホストされているソフトウェアに異なるポイント規則を適用する場合、または 1 つのポイント規則が今後定義されるものを含めた「任意の」クラウド サービス プロバイダーに適用される場合と同じです。本リリースの FlexNet Manager Suite には、デフォルトのサービス プロバイダー セットに適用する IBM PVU ライセンス用のデフォルト ポイント規則が含まれています。
- 適切なポイント規則にリンクするだけでなく、次のような指定の環境において、個別のライセンスがインベントリ デバイスの消費を許可する（または許可しない）ように設定することができます:
    - 指定されたクラウド サービス プロバイダー、または一連の選択されたクラウド サービス プロバイダー内
    - 現在または将来の**任意**のクラウド サービス プロバイダー内
    - 独自のサーバー上にあるオンプレミスでホストされる
    - 上記の適切な組み合わせ。
- サービスとしてのインフラストラクチャー(IaaS)/サービスとしてのプラットフォーム（PaaS）向けの、常に仮想マシンである個別のインベントリ デバイスを、それがホストされているクラウド サービス プロバイダーにリンクすることができます。

仮想マシン上で実行中のアプリケーションが適切なライセンスにリンクされていて、ライセンスが適切なコンテキストからのデバイスによってのみ消費されるとき、また（ポイントベースのライセンスの場合）コンテキスト固有のポイント規則からポイントが消費されるとき、許可されている各インベントリ デバイスのライセンスに対する消費が計算され、自動的に各ライセンス コンプライアンスの計算に含まれます。

この機能は FlexNet Manager Platform で提供されています。

SaaS Inventory Framework

多くの組織が次々とサービスとしてのソフトウェア (SaaS) アプリケーションを採用しています。これらのアプリケーションの管理には、使用状況に関する情報を検出するための新しいアプローチが必要です。SaaS Inventory Framework を導入すれば、顧客、パートナー、およびフレクセラが共通のプラットフォームを使用して、使用状況およびコンプライアンス管理に必要な API をサポートする任意の SaaS アプリケーションとの統合を図ることができます。

SaaS Inventory Framework は、プログラミング知識さえあれば、SaaS ベンダーと接続し、受信データを FlexNet Manager Suite にマッピングすることができるように設計されています。カスタマーが定義した FlexNet Beacon からのスケジュールに基づいて統合が実行され、FlexNet Manager Suite ユーザーが最新データを使用できるようにします。

SaaS Inventory Framework:

- 業界標準の PowerShell スクリプト言語を活用して、SaaS API との統合を図ります。
- ネットワーク管理、シングル サインオン、財務管理、および SaaS アプリケーションの使用状況に関する詳細を検出および提供するその他のソリューションとの統合を図ります。
- インポートされたソフトウェア消費のデータ マッピングを定義します。
- FlexNet Manager Suite 内のユーザーベースの SaaS ライセンスを追跡します。
- ユーザーベースの SaaS ライセンスを管理してコスト最適化を行います。
- 企業ディレクトリを使って電子メール ID を標準化します。

この機能は FlexNet Manager Platform で配布されます。

Salesforce サブスクリプション管理

Salesforce サブスクリプションは有益ではありますが、大規模な組織や複雑なライセンス管理では多大なコストがかかります。FlexNet Manager Suite を使えば、Salesforce ライセンスおよび消費をまとめて管理することができます。FlexNet Manager Suite は、Salesforce ライセンス割り振りと使用率データをインポートするためのインベントリ アダプターを搭載しています。また FlexNet Manager Suite のツールを活用して、Salesforce ライセンスと消費コストを管理できます。FlexNet Manager Suite と Salesforce の統合により、未使用の Salesforce サブスクリプションを確認し、サブスクリプション更新時のコスト削減に役立てることができます。FlexNet Manager Suite では、以下の処理が可能です:

- Salesforce ライセンス情報をインポートして、接続中の各 Salesforce インスタンスに対して 1 つの SaaS User ライセンスを作成。
- Salesforce にアクセス中の組織内の各ユーザーについての消費情報を表示。
- 複数の Salesforce インスタンスをサポート。

- 各 Salesforce インスタンスにアクセス中のユーザーおよびアクセス中でないユーザーを一覧を表示する SaaS 使用状況の概要レポートを提供。これを使ってサブスクリプションの更新コスト削減に役立てることができます。

この機能は FlexNet Manager Platform で配布されます。

Data Platform との統合

フレクセラによる BDNA 買収により、FlexNet Manager Suite の本リリースは、アプリケーション認識およびライセンス管理における業界リーダーである Flexera Data Platform を提供するための技術統合の第一段階となります。この第一段階では、Normalize v5 から標準化されたデータを FlexNet Manager Suite にインポートすることができるコネクターが提供されています。(Normalize v5 は、BDNA Data Platform v5 ソリューションの一部として提供されています。)

このようなコネクターでは、標準化されたソフトウェア データがまずエビデンスとして FlexNet Manager Suite にインポートされます (この場合、エビデンスの種類が「Flexera ID」のインストーラー エビデンス)。インストーラー エビデンスはアプリケーション認識ライブラリ (ARL) に対して自動的に照合され、一致した場合、インポート処理の一環として FlexNet Manager Suite にインストール済みアプリケーション レコード ([インストール済みアプリケーション] に表示) が作成されます。(別のインベントリ ソースからのインポート後にインストール済みアプリケーション レコードが既に存在する場合、Data Platform からインポートされた Flexera ID エビデンスへのリンクでアップデートされます。)

インベントリ デバイスのレコード (物理サーバーおよび仮想マシンの両方) およびインストール レコードも Normalize v5 からインポート、および認識されたアプリケーションにリンクされ、インベントリ デバイスにインストールされている認識されたアプリケーションが次回のライセンス コンプライアンスの計算に考慮されます。

***メモ**: Technopedia でのみ見つかったアプリケーションで、ARL にはまだ追加されていないものは、FlexNet Manager Suite でアプリケーションとして認識されず、認識されないインストーラー エビデンスのままとなります。エンタープライズ内でこのような状況が発生したとき、フレクセラに対して ARL の将来的なリリースで優先的にこれを配布することを要求できます。同様に、エンタープライズ内のローカルで作成された任意のアプリケーション レコードも、Normalize を使って認識されないインストーラー エビデンスとしてインポートされます。これらは ARL で一致されないため、[**認識されないエビデンス**] 一覧に残ります。希望する場合、この認識されないエビデンス レコードから FlexNet Manager Suite 内でローカル アプリケーション レコードを再び作成することができます。*

その他のインベントリ ソースと同様に、いくつかのギャップが生じることがあります。この場合、Normalize v5 がインベントリ ツール (たとえば Microsoft SCCM または ADDM) で見つかったデータ ギャップを渡し、エクスポート可能なデータがさらに制限されます。その結果、Normalize v5 からのみ収集されたインベントリは次の処理には不十分となります:

- Oracle ライセンスの計算
- IBM サーバー ライセンスの計算

- 仮想マシンについての詳細、たとえば割り当てられたコア数やプロセッサ カウントに依存する任意のライセンス (VM の場合、このコネクターは仮想ホストのみをインポートし、プール、クラスター、キャッピングなどを含むその他の VM 詳細はインポートされません。)

これらの欠点を克服するために推奨されるベスト プラクティスは、ターゲット デバイスに FlexNet インベントリ エージェントをインストールして、ライセンス関連のインベントリの収集を最適化することです。(たとえば、FlexNet Manager Suite を ILMT の代替として使用して IBM PVU ライセンスのサブキャパシティ消費を計算する場合、FlexNet インベントリ エージェントをローカルにインストールすることが常に IBM による*必須要件*です 。)複数のインベントリ ソースがあっても問題はありません: FlexNet Manager Suite は複数の重複インベントリ ソースを照合して、適切にレコードの統一化を図ります。

前提条件

Flexera Data Platform にデータを統一するこの最初の手順は、FlexNet Manager Suite 2018 R1 へのアップグレード後、デフォルトで有効化されません。まず初めに、実装が次の要件を満たさなくてはなりません:

- Normalize v5 および FlexNet Manager Suite の統合には、BDNA Data Platform の更新済みライセンスが必要です。BDNA Data Platform v5 製品を使用中の既存のお客様は、更新済みライセンスをフレクセラに要求できます。更新済みアクティベーション キーを受け取ったら、BDNA Admin の **[Preferences]** ページにある **[Registration]** タブで **"Activation Key"** フィールドにコピー/貼り付けしてください。
- Normalize では、Normalize からのアプリケーション レコードと ARL 内のアプリケーション レコードとをリンクするための新しいデータ パック が必要です。上記のライセンス条件が満たされた後、BDNA Admin の **[Technopedia]** ページを開いて **[Start Catalog Sync]** をクリックすると、自動的にデータパックを受け取ることができます。
- FlexNet Manager Suite のオンプレミス実装をご利用中のお客様はフレクセラ製品 & ライセンス センター (パスワード要) から **Data Platform v5** コネクターをダウンロードする必要があります。このダウンロードは 2018 年 4 月 2 日からご利用いただけます。簡単なインストール手順は、ダウンロード アーカイブに掲載されており、フレクセラ カスタマー コミュニティー (英語のみ) のナレッジ ベースからもご利用いただけます。
- FlexNet Manager Suite のクラウドベース実装のお客様は、追加機能が 2018 年 4 月 2 日から中央アプリケーション サーバー上で使用可能となります (今後のフレクセラからの通知によります)。

以前のリリースからの変更点

インポートおよび照合を制御するロールの管理

FlexNet Manager Suite では、データと製品の機能の両方のアクセス権利すべてを *「ロール」* を使って制御します。オペレーターは、アカウントが割り当てられているロールによって付与される権利を継承します。

このリリースでは、ロールで使用可能なアクセス権利の構造が変更されており、次の管理が簡素化されます:

- どのオペレーター ロールでデータ インポートを制御できるか
- どのロールで未スケジュール ライセンスの照合をトリガできるか

次に説明されている通り、次の変更済み設定を使って、ロールが以前と同じ機能を提供できるように、慎重な移行が提供されています。

すべての変更点は、**[アカウント]** をクリックして **[ロール]** タブを選択すると右上に表示されるシステム メニューを開いて確認することができます。タブ内で、ロールを作成または編集すると、アクセス権利の「アコーディオン」が表示され、ここで 1 つずつ見出しをクリックしてセクションを拡張することができます。各セクション内で、**[特権]** ドロップダウン リストから [カスタム] 値を選択すると、詳細の追加レベルを編集することができます (**[特権]** から選択されているその他の値の詳細も表示されますが、編集はできません)。

次の変更が含まれます:

- **[管理]** セクションの機能の 1 つは [データベース ソースおよび企業グループ ファイルからインポート] と呼ばれていました。このコントロールは、今回より使用できなくなりました。
- リストの下にある新しいアコーディオン ヘッダー は、**[データ入力: ビジネスおよびインベントリのインポート]** です。このグループには、2 つの独立した機能のコントロールが含まれています:
  - インポート ビジネス データは、**[データ入力]** ページの **[ビジネス データ]** タブの表示/非表示、およびそのタブへのアクセスを制御します (システム メニューからアクセス可能)。「ビジネス データ」には、購入レコード、エンタープライズ グループ構造、およびこれらのグループへのエンド ユーザーの割り当てが含まれます。

    ヒント: *追加アクセス権は、インポートのより詳細な制御を可能にします。たとえば、購入レコードをインポートするには [ライセンスの発注書の調整を上書きする] 権利 ([**発注書**] グループ内) も必要です。このため、新しいロールを最初から作成するよりも、既存ロールをコピーしてから必要に応じて各設定を調整する方法が最も簡単です。*

  - [コンプライアンス データベースへのインベントリのインポートを構成、および照合] は、同じページの [インベントリ データ] タブの表示/非表示とアクセスを制御します。この権利は、オペレーターによるインベントリ接続の管理 (たとえば、インベントリ ソー

スの接続詳細を指定) を許可し、これらの接続から追加で未スケジュールのインベントリ インポートをトリガすることもできます。ここで重要なのは、この機能の [**許可**] を継承するオペレーターのみが、追加の未スケジュール ライセンスの照合をトリガすることができる点です ([**ライセンス コンプライアンス** > **照合**] ページ内)。

FlexNet Manager Suite アップグレードの標準処理によって前述の変更が自動的に行われ、また既存ロールが引き続き機能するように、次の移行も行われます:

1. 以前、古い [データベース ソースおよび企業グループ ファイルからインポート] に権利を付与したロールは、今回より [ビジネス データのインポート] に権利を付与します。
2. さらに、以前これらのロールが古い [データベース ソースおよび企業グループ ファイルからインポート] *および* [FlexNet Manager Platform プロパティの構成] の*両方*に権利を付与した場合、今回より [コンプライアンス データベースへのインベントリのインポートを構成、および照合] にも権利を付与します。

このテーブルは、これらの変更によって影響を受ける各機能 (または製品ページ)、現在のリリースで機能を使用するために必要な新しいアクセス権利、および以前のリリースで対応する古いアクセス権利を説明します:

機能/ページ	現在のアクセス権利	以前必要だった権利
データ入力 > **ビジネス データ**	ビジネス データのインポート	両方の場合で、次の両方が必要: • FlexNet Manager Platform プロパティの構成 • データベース ソースおよび企業グループ ファイルからインポート
データ入力 > **インベントリ データ**	コンプライアンス データベースへのインベントリのインポートを構成、および照合	
照合	• コンプライアンス データベースへのインベントリのインポートを構成、および照合	• データベース ソースおよび企業グループ ファイルからインポート

つまり、これらの変更によって:

- ビジネス データおよびインベントリ データを管理する個別のオペレーター ロールの割り当てを可能にします。
- 要件を簡素化し、各アクセス タイプごとに単一の権利を必要とします。
- どの権利によってオペレーターが手動で照合をトリガできるかを明確にします。
- 照合処理およびインベントリのインポート管理両方において、実用的にグループ分けします。

IBM 製品のエディションについての認識改良

FlexNet インベントリ エージェントの最新リリースでは、IBM Tivoli Storage Manager™ バージョン 7.x、および IBM Spectrum Protect™ バージョン 8.x 以降 (IBM はリリース 7.1.3 から名称変更を行いました) の製品エディションの認識が改良されています。次の製品エディションは、今回よりそれぞれ個別に認識されます:

- 基本のエディション (それぞれ Tivoli Storage Manager および IBM Spectrum Protect)
- 拡張エディション (それぞれ Tivoli Storage Manager Extended Edition および IBM Spectrum Protect Extended Edition)
- Data Retention エディション (それぞれ IBM System Storage Archive Manager および IBM Spectrum Protect for Data Retention)

このサポートには 2 つの要素が必要です:

- 現在の FlexNet インベントリ テクノロジ (たとえば、FlexNet インベントリ エージェント、FlexNet Inventory Scanner、またはゼロフットプリント インベントリ収集による)中央サプリケーション サーバーのインストールまたはアップグレードには、すべてのサポート対象プラットフォーム用の FlexNet インベントリ エージェントのバージョンが含まれていて、希望のデプロイメント方法が使用可能です。(このリリースの FlexNet インベントリ エージェントの内部リリース番号は 13.0.0 です。実際、強化された機能は FlexNet インベントリ エージェントの限定版リリース 12.4.2 からサポートされています。)
- アプリケーション認識ライブラリ (リリース 2212 以降) の現在のエディション。これは 2017 年 12 月 15 日にリリース済みですので、通常の処理が行われた場合、ご利用の環境内にこのバージョンが配置されているはずです。

アプリケーション認識ライブラリ (ARL) は、新しいアプリケーションの定義と共に、更新されたアプリケーションの定義を提供します。これらの変更および追加は、上の一覧に掲載されている特定のエディションに適用します。これらの各アプリケーションの定義には、最新の FlexNet インベントリ エージェントによってアップロードされた追加エビデンスに一致する新しいエビデンス規則が含まれます。最新 ARL および最新 FlexNet インベントリ エージェントの組み合わせによって、様々なアプリケーションのエディションがインベントリのインポートおよびライセンス コンプライアンスの計算時に自動的に認識されます。

ヒント: *IBM 名称変更はリリース 7.1.3 以降からですが、アップグレード/ダウングレード権を追跡しやすくするために、これらの各アプリケーション レコードの名前が「Spectrum Protect …」となっています。たとえば Tivoli Storage Manager 7.1 を実行中の場合、"Spectrum Protect 7.1 Basic" と呼ばれるアプリケーションを使用します。*

一度変更が行われると、アプリケーション定義は、区別されていないアプリケーション (以前使用可能であった、エディション情報が含まれていないアプリケーション) のラベルをエディション「不明」に変更します。FlexNet インベントリ エージェントの古いエディションからアップロードされた任意のインベントリは、引き続きこのエディション未指定のアプリケーションの認識をトリガします。これは、FlexNet インベントリ エージェントの古いバージョンがエディションの識別を可能にする追加エビデンスを収集することができないためです。

お客様の環境内で認識されているこれらの製品の各エディションに付随する、適切に構成されたライセンスが必要である可能性が高いです。新しい FlexNet インベントリ エージェントがロールアウトされる移行期間中 (または逆に、古いエージェントが継続してインベントリのレポートを行っているとき)、インストールは自動的に「エディション: なし」アプリケーション (古いエージェントからエビデンスが収集された場合) から適切なエディション ライセンス (現在の FlexNet インベントリ エージェントからのエビデンスがインポートおよび照合された場合) に自動的に切り替わります。

作業概要

1. アップグレードを行う場合、FlexNet インベントリ エージェントの新しいバージョンが必要です (*Upgrading FlexNet Manager Suite to 2018 R1 on Premises* PDF に掲載されている「*Configure Updates to Inventory Agents* (インベントリ エージェントのアップデートの構成)」を参照)。サードパーティ展開ツールを使用する場合、現在の FlexNet インベントリ エージェントが展開済みであることを確認してください。

   ヒント: *新しいデバイスを採用するときに、特別な設定は不要です。新しいインストール、新しいデバイスの採用には、自動的に FlexNet インベントリ エージェントの使用可能な最新版が使用されます。*

2. インベントリ ビーコンによるインベントリの収集は、インベントリ ビーコンの更新の一環として、自動的にアップグレードされます。確実に、システムで最新インベントリ ビーコンの自動アップデートを許可してください (**検出 & インベントリ** > **設定** > **ビーコンの設定** > **使用が許可されているビーコン バージョン**)。
3. ARL の適切なエディションがインストールされていることを確認します:
   a. システム メニューを開きます (Web インターフェイスの右上)。
   b. **システム正常性** > **システム正常性ダッシュボード**を選択します。
   c. **ARL** のカードが 2212 以降を表示していることを確認します。
4. 先に一覧表示されている任意の IBM 製品を使用する場合、各アプリケーションに適切なライセンスが添付されていることを確認してください。「エディション: なし」と表示される各アプリケーションに少なくとも 1 つのライセンスを添付し、FlexNet インベントリ エージェントのレガシー バージョンが実行中である限り、この構成を保持し続けます。
5. FlexNet インベントリ エージェントの最新リリースは、ターゲット インベントリ デバイスから収集されたインベントリのレポートを徐々に移行するため、「エディション: なし」ライセンスから適切なエディションのライセンスにインストール レコードが移行するのを監視します。

Adobe DC アプリケーションの認識改良

Adobe DC (Document Cloud) アプリケーションのアプリケーション認識が FlexNet インベントリ (たとえば、FlexNet インベントリ エージェント、FlexNet インベントリ スキャナーおよびゼロフットプリント インベントリの収集) をご利用中のカスタマー向けに追加されました。これには Adobe DC アプリケーションの体験版インストールの認識は含まれていません。

Flexera Analytics のサイレント インストールにおける資格情報の暗号化サポート

FlexNet Manager Suite オンプレミスのカスタマーは、今回よりプレーン テキストの代わりに暗号化された資格情報を使って **Flexera Analytics** をインストールできます。

これらの暗号化された資格情報は、RSA または ECDH 証明書のどちらかを使って実装できます。RSA 証明書は、キーの使用拡張でキーの暗号化を許可する必要があります。また、ECDH 証明書は、キー使用拡張でキーの承諾を許可する必要があります。より詳しい情報は、**Installing FNMS 2018 R1 on Premises** ガイドに掲載されています。

失効日チェックの用の追加 URL

システム オペレーションが必要とする URL およびポート番号を一覧表示するオンライン ヘルプ ページが更新され、特定のサブドメインがアクセスされたときに FlexNet Manager Suite のクラウド インスタンスが使用する 2 番目の個別の証明機関の詳細が含まれます。このページは *FlexNet Manager Suite [ヘルプ > インベントリ ビーコン > インベントリ ビーコン リファレンス > インベントリ ビーコンのポートおよび URL]* からご利用いただけます。

この機能は 2017 R3 リリースで追加されましたが、今回までドキュメントが提供されていませんでした。

HP DDMI アダプター ドキュメントの更新

HP DDMI は古いテクノロジのため、一般的に HPE Universal Discovery に変更されています。ただし、一部のカスタマーがインベントリ ソースとして HP DDMI を継続して使用しているため、要望に応えて HP DDMI アダプター ドキュメントが更新されおり、オンライン ヘルプのタイトル ページから取得できる *FlexNet Manager Suite Adapter Reference* PDF ドキュメントに統合されています。「*Using the HPE Universal Discovery Adapter*（*HPE Universal Discovery Adapter を使用する*）」セクションの直後に新しい記述として追加されています。

バンドルのドキュメント強化内容

複数製品ライセンスは、本来の複雑さと共に、様々なソフトウェア メーカーが異なる方法で構成しているため、理解するのは困難です。このリリースに含まれている複数製品ライセンスに関連するオンライン ヘルプは、以下の点で強化されています：

- 1 つのデバイス上で*単一*のプライマリ製品のインストールによって、複数製品ライセンスから消費をトリガすることが可能である点についての訂正。（以前の記述、「すべての」プライマリ製品が必要という記述は誤りでした。）
- 通常、「プライマリ」および「追加」製品を持つ必要はないことを明記し、ほとんどのソフトウェア メーカーはすべての製品（つまり、複数製品ライセンスに含まれるすべてのプライマリ製品）を同等に扱うバンドルを提供します 。（ほとんどのプライマリおよび追加製品の仕様は IBM または Oracle からのライセンスに含まれています。）

- 新しいヘルプ トピック「*License Compliance Calculations (ライセンス コンプライアンスの計算)*」では、ライセンス コンプライアンスの計算処理についての技術的な詳細が説明されています。

インベントリ ビーコンの選択処理についてのドキュメント

新しい章、「*Selecting Inventory Beacons (インベントリ ビーコンを選択する)*」が、*Gathering FlexNet Inventory* PDF (オンライン ヘルプのタイトル ページから取得できます) に追加されました。これには、ローカルにインストールされた FlexNet インベントリ エージェントが任意のポリシー アップデートを要求するのにどのインベントリ ビーコンを使用するか、または収集されたインベントリをアップロードするのかを選択する処理について説明します。

完全な処理の説明だけでなく、インベントリ デバイス上で必要な情報がどのようにローカルに保存されるのか、様々なユーザー設定がインベントリ ビーコンの優先順位にどのように関与するのか、また FlexNet インベントリ エージェントが優先するインベントリ ビーコンを選択するために使用可能なすべてのアルゴリズムの詳細についても含まれています。

メモ: *NetSelector 機能によって使用されるアルゴリズムの選択をカスタマイズするためのユーザー インターフェイスは提供されていません。これは、インベントリの収集処理に最適化されています。この情報は、処理の詳細を熟知したいユーザー、または高度なカスタマイズを行いたいエンタープライズ向けです。*

Oracle データベースの複製: 機能および使用状況の計算における変更

Oracle 機能が有効化されている Oracle データベースをユーザーが複製すると、これらの機能 (および使用履歴) は複製されたシステム上で有効化された状態となります。ただし、有効化された機能が新しいシステム上で使用されなかった場合、FlexNet Manager Suite はこれらの機能を使用中としてカウントしません。その結果、これらの条件が一致した場合、ユーザーは Oracle ライセンス ポジションの変更に気が付くかもしれません。

Software Vulnerability Manager インベントリ エクスポート ツールの名前変更

Software Vulnerability Manager からインベントリをインポートするインベントリ エクスポート ツールの名前が変更されました。以前は FNMS-VIM.exe と呼ばれていましたが、FNMS-SVM.exe に変更されました。これは 製品 & ライセンス センター からダウンロード可能で、*Systems Reference Guide* の「*Overview of Inventory Export Tool* (インベントリ エクスポート ツールの概要)」章 (英語のみ) で説明されています。

インベントリ エクスポート ツールを自動化するスケジュール タスクを作成した場合、ドキュメントで推奨されている通り、このファイルの更新済みの名前を使用するように必ずタスクも更新してください。このタスクの共通名は、Installed Software Export to VIM/SVM です。

使用許諾契約

お客様の会社がライセンスを購入して、フレクセラまたは公認フレクセラのリセラーとのソフトエア使用許諾契約書に同意した場合、このソフトウェアの使用に関して、その使用条件が適用されます。そうでない場合、評価または全額支払い済みのライセンスを基本として、このソフトウェアの使用は、ダウンロード済みのインストール パッケージに含まれている、クリックスルー形式の FlexNet Manager エンドユーザー使用許諾契約に基づいた使用条件が適用されます。

該当するソフトウェア使用許諾契約に同意できない場合、いずれのコンピューターにも Flex Net Manager Suite をインストールすることはできません。また、既にインストール済みの場合、これをインストール済みのすべてのコンピューターから削除する必要があります。また、所有するソフトウェアのすべての複製を返却または破棄しなくてはなりません。

ライセンスの互換性

FlexNet Manager Suite 2017 R3 からアップグレードするとき、このリリースに更新済みライセンスは不要です。以前の任意のリリースからアップグレードを行う場合、**Flexera Analytics** をインストールするために更新済みライセンスが必要です。

何らかの理由でオンプレミス カスタマーが新しいキーを必要とする場合、support@flexerasoftware.com にお問い合わせください。ライセンスが作成された後、要求者に電子メールが送信され、そのコピーが製品 & ライセンス センターに保管されます。アップデートされたライセンスは、FlexNet Manager Suite にインポートする必要があります。

インストールおよびアップグレードについての通知

FlexNet Manager Suite リリース 2017 R1 以降からオンプレミス実装をアップグレードする場合、(下の一覧から「アップグレード」ドキュメントを使って) 通常のアップグレード手順に従ってください。

以前のリリース (2014 – 2016 R2) からアップグレードする場合、確実にすべてのコンポーネントをアップグレードしてください。

- アプリケーション サーバー (オンプレミス実装の場合、通常のアップグレード手順を使用)

- すべての FlexNet インベントリ ツール。フル FlexNet インベントリ エージェント、簡易 FlexNet インベントリ スキャナー、すべてのインストール場所にある FlexNet コア インベントリ コンポーネント
- すべてのインベントリ ビーコンにインストールされている FlexNet ビーコン

ヒント: *クラウド (SaaS) 実装をご利用中のカスタマーには、すべての FlexNet インベントリ ツールおよびインストール済みのインベントリ ビーコンを最新版にアップデートすることを強くお勧めします。*

この推奨は、以前のバージョン (2017 R1) と共にリリースされたすべてのコンポーネントに関係する継続的なセキュリティ保護の強化に基づくものです。

現在のリリースである FlexNet Manager Suite 2018 R1 へのアップグレードおよびインストールの手順をオンプレミス カスタマー向けに説明する 4 つのドキュメントがあります。

- *Installing FlexNet Manager Suite 2018 R1 On Premises* (英語のみ)。Flexera Analytics 2018 R1 をインストールするためのオプションを含みます。
- *Installing FlexNet Manager Suite 2018 R1 for a Managed Service* (英語のみ)。
- *Upgrading FlexNet Manager Suite from 2014 Rx to 2018 R1 On Premises* (英語のみ)FlexNet Manager Platform バージョン 2014 以降からのアップグレード用です。
- *Migrating to FlexNet Manager Suite 2018 R1 On Premises* (英語のみ)。FlexNet Manager Platform 9.2 から FlexNet Manager Suite 2018 R1 への移行について説明されています。FlexNet Manager Platform の以前のバージョンは、この移行を開始する前に 9.2 バージョンにアップグレードする必要があります。

これらは、製品 & ライセンス センター および カスタマ コミュニティー ドキュメント サイト (英語のみ) からアクセス可能な **Installation Documentation for FlexNet Manager Suite 2018 R1** アーカイブに含まれています。これらは、オンプレミス実装のオンライン ヘルプのタイトルページからも取得できます。

修正されたバグ

FlexNet Manager Suite 2018 R3 のリリース以来、**FlexNet Manager Suite 2017 R1** リリースでは、次の問題が修正されました。

案件番号	概要
FNMS-55385	A significant performance issue may occur in FlexNet Manager Suite 2017 R3 due to a poorly performing background task.
FNMS-55673	FlexNet Manager Suite import may timeout due to the shape of the data in the Inventory Manager database
FNMS-54696	'A Problem Occurred' error may happen when viewing the SAP Package Details page
FNMS-41925	The "Inventory Errors on All Discovered Devices" report may take a very long time to complete.

FNMS-52902	Running large reports may result in a timeout without a timeout setting.
FNMS-54124	Silent install may display a successful status when it has failure.
FNMS-54513	An import may timeout when importing Xen App inventory
FNMS-54718	'Under Purchased' value on Compliance tab of the license calculated doesn't take into account 'Quantity per Unit'
FNMS-55236	Oracle instance users are missing from Oracle database inventory from version earlier than 12c
FNMS-55319	The password for the Office365 connector is displayed in the Event Viewer, when Enhanced Powershell logging is enabled
FNMS-55383	Using grouping and filtering on a grid may cause exception or empty rows
FNMS-55421	Incorrect computer matching and asset update may occur, when the wrong computer is linked to an asset that is deleted from inventory
FNMS-55982	Business import of computer with custom properties resulted in SQL expression populated as property value instead of actual value
FNMS-56335	Need to add the categoryID property on the device object in the Business Importer
FNMS-56337	Inventory importer may fail if there are 2 cluster groups with the same name
FNMS-56681	Performing a bulk update on licenses may remove data in custom fields.
FNMS-56793	SAP Inventory Agent may fail with an exception: "Index and length must refer to a location within the string"
FNMS-57556	"Input string not in a correct format" error message occurs when a business import contains a purchase with a custom property value
FNMS-57913	A user login via SAML in a load balanced environment with edge TLS termination may fail due to an incorrect return address in the SAML request
FNMS-58305	A red bar error may occur when modifying an asset setting in System Settings > Assets
FNMS-26455	Error displayed on filtering or sorting 'Recommended change' column in Recommend License Changes grid
FNMS-48196	IBM RVU license consumption is not displayed in the All Licenses page
FNMS-50908	Problem with Agent-based Oracle inventory where Oracle home path is using a symbolic link
FNMS-30827	Running the 'Entitlement Position History for a License' report, results in a 403 Error.

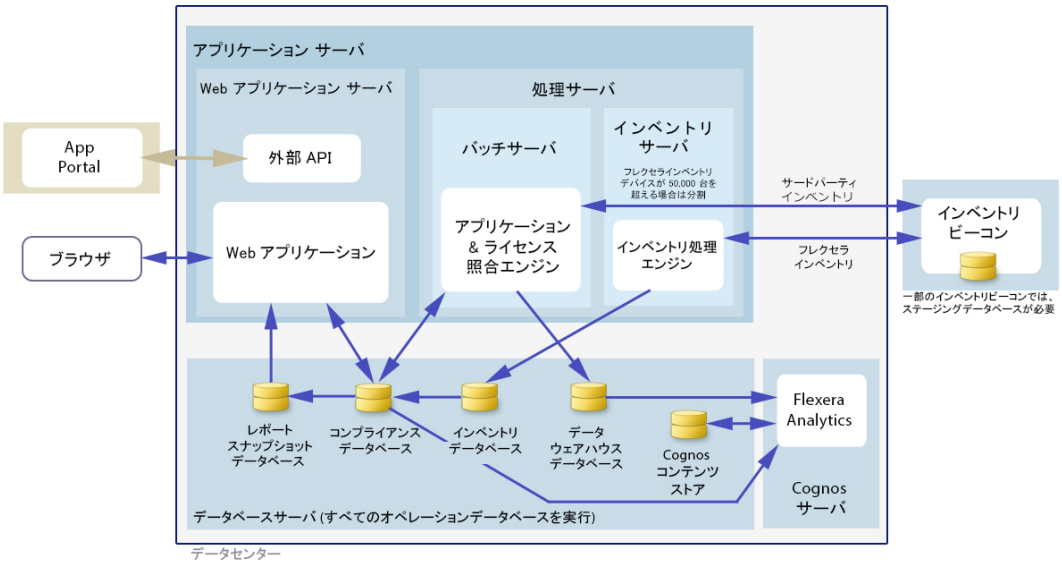
FNMS-39481	The Vulnerability Intelligence Manager tool does not support Microsoft's Transport Layer Security (TLS) protocol 1.2
FNMS-50347	License alerts for unknown users don't clear even when the condition no longer exists
FNMS-50880	Attempting to use Advanced Filter 'Source Does Not Equal' in All Applications page, results in an error.
FNMS-55144	Unnecessary high-frequency PVU inventory uploads may be triggered by variations in system clock speed
FNMS-55194	Management View grid customizations are invalidated after upgrading to FlexNet Manager Suite 2017 R3
FNMS-55988	Windows inventory agent may fail to collect hardware evidence and fallback to Windows API, possibly affecting the collected computer s memory value.
FNMS-31893	The Purchase Order One-Off Upload does not import the Publisher field value if the publisher does not exist in FlexNet Manager Suite
FNMS-34646	German Web UI: Asset Properties page > Documents tab > "Physical location" (Physischer Standort" is cut-off, the ending "t" is not visible.
FNMS-35019	French Web UI: Retired or Disposed Asset Inventory > the page description is too long
FNMS-41650	French Web UI > License Properties: the "Set Compliance status manually" label is wrapped to the second line while there's enough space to accommodate the text
FNMS-54100	Editing an Account on the All Accounts page may fail and then display the wrong warning message
FNMS-54785	Custom properties do not display for assets, computers or licenses
FNMS-54865	Flexera Analytics silent installation answer files, do not support encrypted credentials.
FNMS-55084	Values for custom properties using drop-down lists will be cleared when using multi-edit
FNMS-55158	The Vulnerability Intelligence Manager (VIM) tool does not support Federal Information Processing Standards (FIPS).
FNMS-55887	Oracle Legacy License Type can prevent a device from consuming other licenses if set as a Bundle
FNMS-57041	Inventory import may timeout due to the shape of the data in the Compliance database
FNMS-57775	Compliance import may fail with the error "Nullable object must have a value."
FNMS-58289	Red bar error displayed when generating CAL Usage inventory for access evidence

FNMS-58337	SAP User attribute "UserLockStatus" is not imported correctly fr om XML file

システム要件

システム要件は、10,000 台から 200,000 台範囲のデバイスを含む一般的な実装に基づきます。よりスケールの大きい実装の場合、Flexera Global Consulting Services チームまたは大規模な FlexNet Manager Suite の展開経験のあるフレクセラ パートナーと契約することが推奨されます。

次の図は、標準的な実装の構造を説明します:



特定の実装に適切な推奨サーバー数については、*Installing FlexNet Manager Suite 2018 R1 On Premises* ガイド (英語のみ) を参照してください。

FlexNet Manager for SAP Applications 機能のみを使用する実装のサイズに関する推奨条件については、*FNM-SAP Sizing Guidelines 2018 R1* ガイド *(英語のみ) を参照してください。*

ネットワーク要件

ネットワーク

分類	要件	
Internet Protocol バージョン	IPv4、IPv6 およびデュアル スタック。	リモート実行 (たとえば、リモート検出およびインベントリの収集) には Ipv4 が必要です。 FlexNet Manager Suite Cloud およびトップ階層のインベントリ ビーコン サーバー間のコミュニケーションには IPv4 が必要です。 Microsoft CAL デバイス ライセンスの計算には、CAL エビデンスの収集およびコンピューター インベントリに IPv4 が必要です。
ポート	80 & 443	オプションのインベントリ ソースには、追加ポートが必要です。詳細については、オンライン ヘルプの「インベントリ ビーコンのポートおよび URL (Ports and URLs for Inventory Beacons)」を参照してください。

クラウド

分類	要件
DNS hostname クラウド実稼働環境	www.flexnetmanager.com www.flexnetmanager.eu
DNS hostname クラウド ユーザー受け入れテスト (UAT)	uat.flexnetmanager.com uat.flexnetmanager.eu

分類	要件	
DNS ホスト名を使用しないクラウド カスタマーが必要な IP 範囲	US ドメイン: 実稼動環境 – 64.14.29.0/24 DR – 64.27.162.0/24 EUS ドメイン: 実稼動環境 – 62.209.49.0/24 DR – 162.244.221.0/24	インベントリ ビーコンと FlexNet Manager Suite Cloud 間のファイアウォールにおけるネットワーク構成には、DNS ホスト名の使用が推奨されます。予告なし、または限られた通知のみで IP アドレスが変更になる場合があります。

ハードウェア要件

アプリケーション サーバー

分類	要件
プロセッサ	4 コア (オペレーターが 100 人以上の場合は 8 コアまで)
メモリ	8 GB
システム ドライブ	40 GB
データ ドライブ	DataImport および Temp フォルダー (各 2GB、コンテンツ ライブラリの更新用)

データベース サーバー

分類		要件
プロセッサ		オペレーター 100 人につき 4 コア
SQL Server で使用可能なメモリ		デバイス 50,000 台につき 16 GB
システム ドライブ		40 GB
データ ドライブ (シンプルなデータベース回復モデルに基づく、標準的なサイズ)	**コンプライアンス データベース データ**	10,000 デバイスごと: 初年度 25 GB + 15 GB 追加/年
	コンプライアンス データベース ログ	デバイス 10,000 台につき 20 GB
	インベントリ データベース データ	デバイス 10,000 台につき 20 GB (FlexNet インベントリ使用)
	インベントリ データベース ログ	デバイス 10,000 台につき 10 GB (FlexNet インベントリ使用)

分類		要件
	レポート スナップショット データベース データ	10 GB
	レポート スナップショット データベース ログ	10 GB
	データ ウェアハウス データベース データ	20 GB (1,000 ライセンスに基づく)
	データ ウェアハウス データベース ログ	20 GB
	tempdb データ	デバイス 10,000 台につき 5 GB
	tempdb ログ	デバイス 10,000 台につき 1 GB
	Cognos コンテンツ ストア データ + ログ	1 GB
	合計	デバイス 10,000 台につき 60 GB + 80 GB
	年間増加率	デバイス 10,000 台につき 15 GB

Flexera Analytics (Cognos) Server

分類	要件
プロセッサ	4 コア
メモリ	16 GB+ 推奨
システム ドライブ	100 GB

FlexNet Beacon

分類	要件
プロセッサ	2 コア
メモリ	最小 4GB、8 GB 以上推奨
最小空きディスク領域	デバイス 10,000 台につき 1GB

FlexNet インベントリ エージェント

分類	要件
プロセッサ	1 コア

分類	要件
メモリ	最小 512MB、2 GB 以上推奨
最小空きディスク領域	25MB インストール + 100MB ワークスペース

前提条件ソフトウェア

FlexNet Manager Suite 2018 R1 リリース時にサポート対象のオペレーティング システムおよびソフトウェア前提条件は次の通りです。別途記載が無い限り、リリースのサポートには、同じリリースに対してリリースされるすべての公式サービス パックのサポートも含まれます。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
アプリケーション サーバー	• Windows Server 2016 • Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2012 • Windows Server 2008 R2 x64 SP1-SP2 • Windows Server 2008 x64 SP1-SP2	• .NET Framework 4.5.x • Internet Explorer 10.0 to 11.0 • Microsoft Internet Information Services 7.0 から 10.0 • Microsoft Message Queuing (MSMQ) • Microsoft Access Database Engine (32- ビット) • SQL Server 機能: クライアント ツール接続、管理ツール

データベース サーバー (Cognos データベース サーバーを含む)	• Windows Server 2016 • Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2012 • Windows Server 2008 R2 x64 SP 1 • Windows Server 2008 SP1-SP2 • Windows Server 2008 x64 SP1-SP2	• SQL Server 2016 SP1 * • SQL Server 2014 • SQL Server 2012 • SQL Server 2008 R2 • SQL Server 2008 • SQL Server クライアント ツール、同一バージョン **メモ** • Microsoft SQL CLR 統合を有効にする必要があります。 • * Cognos コンテンツ ストア データベースを含み、任意の FlexNet Manager Suite データベースを SQL Server 2016 SP1 以降で実行する際、互換性レベルを SQL Server 2012 (110) または SQL Server 2014 (120) に設定する必要があります。また、このアップデートでは SQL Srever 2016 で発生する致命的なエラーが修復されているため、少なくとも最新 SP1 が適用済みでなくてはなりません。 • マルチテナント インストールには、SQL Server Eenterprise Edition が必要。シングルテナント インストールには、任意の SQL Server エディションを使用可能。 • レガシー契約管理 Web ポータルを使用しているカスタマは、ドキュメント内部を検索できるようにフルテキスト インデックスを有効化してください。 • Flexera Analytics を使用するには、Microsoft SQL Server で TCP/IP プロトコルが有効化されていること、またデータベース サーバーと通信するためのネットワーク アクセス許可が必要です (これは、ファイヤーウォールによってブロックされている可能性があります)。

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
Flexera Analytics / Cognos Server	• Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2012	• .NET Framework 4.5.x • ASP.NET の登録: C:¥Windows¥Microsoft.NET¥Framework64¥v4.0.30319¥aspnet_regiis.exe –i) **メモ** • コンテンツ ストア データベースを実行中のデータベース サーバー以外のサーバーに FlexNet Analytics をインストールする場合、FlexNet Analytics をホストするサーバー上に Microsoft SQL Server Native Client をインストールする必要があります。 • Flexera Analytics サーバーは、マルチ-テナント インストールでサポートされていません。
FlexNet Manager for SAP Applications の管理モジュール トランスポート	• SAP Basis リリース (7.0 および 7.4 の間)	• SAP リリースに一致する SAP GUI をインストールする必要があります。 • ActiveX をインストールする必要があります。
FlexNet Manager for SAP Applications のサテライト トランスポート	• SAP Basis リリース (4.6C および 7.5 の間)	

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
Web ブラウザー	• Microsoft Internet Explorer 10 – 11 • Microsoft Edge for Windows • Google Chrome 56 – 64 • Mozilla Firefox 51 – 58 • Apple Safari 9 – 11 Flexera Analytics メニュー オプションの一部は、Chrome ブラウザーで利用できません。詳細については、「IBM Knowledge Center (英語のみ)」記事を参照してください。 Web ブラウザー リリースのサポートを検証することはできませんが、現時点で、将来的なリリースに問題は確認されていません。	Flexera Analytics は、Microsoft Edge との互換性がありません。 最小スクリーン解像度 1024 (水平方向のピクセル) が必要です。
FlexNet インベントリ エージェント	• Windows Server 2016 • Windows Server 2012 R2 SP1 • Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2012 • Windows Server 2008 R2 x64 Server Core • Windows Server 2008 R2 x64 • Windows Server 2008 Server Core • Windows Server 2008 Server Core • Windows Server 2008 x64 Server Core • Windows Server 2008 x64 • Windows Vista • Windows Vista x64	

FlexNet インベントリエージェント (続き)	• Windows 7 • Windows 7 x64 • Windows 8 • Windows 8 x64 • Windows 10 • Windows 10 x64 • Ubuntu 12 – 16 および 17.04 (x86、32 ビット、および 64 ビットのみ) • Debian 7 – 8.6 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • Red Hat Enterprise Linux 5, 6, 7 (x86、32 ビットおよび 64 ビットのみ)、7.4 (x86-64 ビットのみ) • CentOS 6, 7 (x86、32 ビットおよび 64 ビットのみ)、7.4 (x86-64 ビットのみ) • Fedora 25、26 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • Oracle Linux 4.5 – 7.0 (x86、32 ビットおよび 64 ビットのみ)、7.4 (x86-64 ビットのみ) • OpenSuSE Leap 42.2, 42.3 (x86、32ビット、および 64 ビットのみ) • SuSE Enterprise Server 11 and 12 (x86、32 ビットおよび 64 ビットのみ)、7.4 (x86-64 ビットのみ) • Solaris 9、10、11 (x86)、10 & 11 ゾーン • Solaris 8、9、10、11 (SPARC)、10 & 11 ゾーン • Mac OS X 10.6 Snow Leopard、10.7 Lion • OS X 10.8 Mountain Lion、10.9 Mavericks、10.10 Yosemite、10.11 El Capitan (Gatekeeper を無効化) • macOS 10.12 Sierra • AIX 7.1, 7.2, LPARs

コンポーネント	オペレーティング システム	前提条件ソフトウェア
	• HP-UX 11i v3、vPars/nPars	

FlexNet Beacon	• Windows Server 2016
	• Windows Server 2012 R2
	• Windows Server 2012
	• Windows Server 2008 R2 x64
	• Windows Server 2008
	• Windows Server 2008 x64
	• Windows 7
	• Windows 7 x64
	• Windows 8
	• Windows 8 x64
	• Windows 10
	• Windows 10 x64
		• .NET Framework バージョン 4.5.x – 4.6.2
		• 任意のサポート対象 Web ブラウザー
		• Oracle OLE DB Provider (32 ビット)、バージョン 10.2.0.3 以降 (Oracle データベース インベントリ用)
		• IBM OLE DB Provider (32 ビットまたは 64 ビット) (DB2 データベースからデータをインポートするための接続用)ドライバーが 32 または 64 ビットのどちらであるかは、オペレーティング システムによって決まります。64 ビットのオペレーティング システムでは、64 ビット ドライバーが必要です。
		• PowerShell 3.0+
		• Office 365 では次が必要です:
		  • 64 ビット サーバー オペレーティング システム
		  • .NET Framework 4.5.2
		  • Microsoft オンライン サービス サインイン アシスタント (64 ビット バージョン)
		  • Windows Azure Active Directory PowerShell Module
		  • Skype for Business Online PowerShell Module

その他の製品との互換性

このセクションでは、リリース時における FlexNet Manager Suite 2018 R1 およびその他のフレクセラ製品との互換性について説明します。

同一サーバー上にインストール

次の表に、FlexNet Manager Suite 2018 R1 アプリケーション サーバーと同じサーバー上にインストールされた、サポート対象コンポーネントの一覧が表示されます。

コンポーネント	FlexNet Manager Suite 2018 R1 と同一サーバー上にインストール可能なバージョン
FlexNet インベントリ エージェント	2018 R1
FlexNet Beacon	2018 R1
Flexera Analytics	2018 R1

その他の製品との統合

FlexNet Manager Suite は、次の製品およびコンポーネントとの統合が可能です。サードパーティ製品のサポートは、元のソフトウェア ベンダーが公開しているサポート期日に従います。
環境が元のソフトウェア メーカーによるサポートを終了している場合、フレクセラは「現状のまま」サポートを提供し、バグ修正や機能強化以外の問題のトラブルシューティングのみを行います。

この表は、現在サポートされているバージョンの詳細です:

製品/コンポーネント	インポート元のバージョン
App Portal	2013 R2 から 2017 R2
BladeLogic Client Automation (Marimba)	8.2
BDNA Normalize (Data Platform)	5
BMC Atrium CMDB	8.1 から 9.1 (Atrium Integrator バージョン 8.1 から 9.1 を含む)
BMC Discovery (ADDM)	9.0、10.0、10.1、10.2、11.0、11.1、11.2
BMC Remedy ITSM Applications	7.6.04 SP4 から 9.1
Citrix XenApp EdgeSight	55.4、7.6、7.14.1、7.15、7.16 (Platinum ライセンス要)
Citrix XenApp Server	6.0、6.5、7.5、7.6、7.8、7.9、7.11 – 7.16
Citrix XenDesktop	5.6、7.5、7.6、7.8、7.9、7.11 – 7.16
FlexNet Manager Suite	9.2、2014、2015、2016、2017、2018
FlexNet Manager for Engineering Applications	15.5、2016 R1、2016 R2、2016 R2 SP1

製品/コンポーネント	インポート元のバージョン
HP Discovery および Dependency Mapping Inventory (DDMI)	9.30
HPE Universal Discovery (HP-UD)	10.10、10.11、10.33
Hyper-V	実行プラットフォーム: • Windows Server 2016 • Windows Server 2012 R2 • Windows Server 2012 • Windows Server 2008 R2 x64 Server Core • Windows Server 2008 R2 x64 • Windows Server 2008 x64 Server Core • Windows Server 2008 x64
Microsoft SQL Server 上の IBM BigFix プラットフォーム (以前の名前は Tivoli Endpoint Manager)	8.2、9.5
IBM DB2 上の IBM License Metric Tool および IBM BigFix Inventory	9.0、9.1、9.2、3、9.2.4、9.2.5、9.2.6、9.2.7、9.2.8、および 9.2.9
Microsoft SQL Server 上の IBM License Metric Tool および IBM BigFix Inventory	9.2.3、9.2.4、9.2.5、9.2.6、9.2.7、および 9.2.8
IBM Passport Advantage	2014 年 11 月現在
IBM Software Usage Analysis (SUA)	9.0、9.1 (IBM DB2 データベース上で実行時)
Microsoft App-V Integration Server	4.6、5.0、5.1
Microsoft Exchange Active Sync	2010
Microsoft SMS/SCCM	2007、2012、2012 R2、1511、1602、1606、1610、1702、1706、1710

製品/コンポーネント	インポート元のバージョン
Oracle Database	8i、9i、10g、11g、11g Release 2、12c メモ: • 8i – ダイレクト インベントリ ビーコン接続が必要 • 9i – Windows の名前付きアカウントまたはダイレクト インベントリ ビーコン接続が必要 • 12c – ローカル エージェントを使用する Oracle Multitenant オプションはサポートされていません
Oracle Enterprise Manager	12.1 から 13.2
Oracle VM Server for x86	3.2 から 3.4.3
ServiceNow	Helsinki、Istanbul および Jakarta
Symantec IT Management Suite (Altiris)	6.5、7.1、7.5
VMware vSphere/vCenter /ESXi	5.0 から 6.5 *メモ: ESXi の無償ライセンス バージョンで、リモート インベントリを行うことはできません。*
Workflow Manager	2014 から 2016

インベントリ コンポーネント

次の表には、FlexNet Manager Suite 2018 R1 で管理可能な FlexNet Beacon および FlexNet インベントリ エージェントのバージョンが一覧で表示されます。

コンポーネント	互換性のあるバージョン
FlexNet Beacon	2014 から 2018 R1 Citrix XenApp インベントリには FlexNet Beacon 2014 R2 以降が必要です。

コンポーネント	互換性のあるバージョン
FlexNet インベントリ エージェント (Windows) **FlexNet インベントリ エージェント (Linux)** **FlexNet インベントリ エージェント (Solaris)** **FlexNet インベントリ エージェント (Mac OS X)** **FlexNet インベントリ エージェント (AIX)** **FlexNet インベントリ エージェント (HP-UX)**	8.4 から 9.2 および 2014 から 2018 R1 *メモ: 以前のバージョンは、スケジュールに基づいてデフォルト ポリシーを受け取り、インベントリを収集する機能の面で互換性を持ちます。より新しい、次のようなエージェント機能はサポートされていません:* • *Internet Protocol バージョン 6 (IPv6)* • *(.Ini ファイルおよびレジストリ コントロールではなく) UI 設定を使った使用率追跡の制御 (2014 (R1) より)* • *IP アドレスがターゲットとする設定 (2014 (R1) より)* • *CAL インベントリ (2016 R1)*
Citrix XenApp サーバー エージェント	2014 R3 から 2018 R1

既知の問題

FlexNet Manager Suite 2018 R1 リリースに関する既知の問題一覧は、リリース時にフレクセラ サポート サイトで参照できます。詳細は、ナレッジベース記事「Known Issues for FlexNet Manager Suite 2018 R1 (FlexNet Manager Suite 2017 R1 に関する既知の問題)」を参照してください。

ドキュメント

FlexNet Manager Suite 2018 R1 のドキュメントは、オンライン ヘルプとして提供されています。Web ユーザー インターフェイスから、疑問符記号のアイコンをクリックしてヘルプを起動してください。追加ドキュメントは、オンライン ヘルプのタイトル ページから取得することができます。オンライン ヘルプおよび追加ドキュメントは、その内容が必要に応じてカスタマイズされているため、すべてのドキュメントはオンプレミス バージョンとクラウド バージョンで異なります。オンプレミス カスタマは、Documentation Centerから追加ドキュメント ファイルにアクセスが可能です。

ドキュメント コンポーネント	言語
オンライン ヘルプ	英語 ドイツ語 フランス語 – FlexNet Manager for SAP Applications 機能

ドキュメント コンポーネント	言語
追加ドキュメント	英語 ドイツ語 – FlexNet Manager for SAP Applications ユーザー ガイドおよびインストール ガイドのみ
その他すべての追加ドキュメント	英語

インストールおよびアップグレードに関するド詳細は、このドキュメントの「Installation and Upgrade Procedures (インストールおよびアップグレードの手順)」セクションを参照してください。

その他の情報

項目	説明
Flexera Web サイト	フレクセラについての情報 http://www.flexera.jp
Flexera システム ステータス ダッシュボード	Flexera のクラウド製品についての現在のリリース状況を表示します。 https://status.flexera.com
サポート	サポート Web サイト (ナレッジベースを含む) (英語のみ) https://flexeracommunity.force.com/customer
製品ダウンロード	フレクセラ製品 & ライセンス センター https://flexera.flexnetoperations.com/flexnet/operationsportal/start Page.do
電子メール サインアップ	ホットフィックスを含む FlexNet Manager Suite のソフトウェア アップデートに関する通知 http://learn.flexerasoftware.com/SLO-FMS-Software-Content-Library-Updates